

令和元年度 自己評価書

学校名	和歌山市立高松小学校
校長氏名	島本和昌
作成日	令和2年2月15日

1 教育目標

豊かな人間性と自ら学ぶ意欲を持ち、たくましく生きる子供を育成する

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	・学校評価保護者アンケート ・児童アンケート「学習内容はよくわかる」 ・研究授業記録	・学校評価保護者アンケート ・うちどく100冊認定児童数 ・仲間づくりの充実	・全国体力・運動能力等調査 ・学力学習状況調査	・学校評価保護者アンケート
重点目標	・心が揺り動く授業の希求	・やわらかく豊かな「ことば」の環境の創造 ・生活の中に学びをつくる ・縦割り活動を充実させる	・基本的生活習慣の確立と体力向上の推進 ・体育学習の充実	・地域・保護者とのあたたかい連携の充実 ・幼稚園・小学校の連携
取組の状況【D】	・授業実践を通して学力の定着に向けて取り組んだ。 ・基礎的基本的な内容の定着に心がけた。 ・子供一人ひとりを知りたいという願いを持ち適切な評価ができるように努めた。	・図書ボランティア方の協力を得ながら図書室の環境づくりに努めた。 ・地域先達の読み聞かせの協力を得て子供たちに良書に触れる機会を提供できるように努めた。 ・縦割り活動を通して仲間づくりに充実に向けて取り組んだ。	・縦割り遊びデーの実施 ・今までの体育授業を見直し単元として取り組んだ。 ・食育指導等の健康面についての学ぶ機会を重点化した。	・交通指導員の皆様や交通安全母の会の皆様、公民館の皆様等多くの地域住民の方々の協力を得て「地域とともにある学校」を目指すことができた。 ・読み聞かせグループの方や図書館ボランティア方々と連携を深め図書の充実に取り組んだ。
取組の成果と課題（評価結果【C】）	・各担任が提案授業を行い子供が集中して取り組む授業のあり方について研修を深めた。 肯定的意見 (保護者) 意欲を持って取り組む授業づくりに努めている 93% (児童) 学習内容はよくわかる 97%	・100人以上の子供たちが読書100冊以上を達成することができた。 ・暗唱はのべ557人が合格する事ができた。 ・児童会主催の校内ウォークラリーを開催した。子供たちの主体的な活動につながった。 肯定的意見 (保護者) 暗唱やうちどくは効果がある 95% (児童) 暗唱や読書は、自分にとっていいものだと思う 93% (保護者) 楽しそうに登校している95% (児童) 学校は楽しい 92%	・体育授業で「授業の初めに目標が設定されている」・「学んだ内容を振り返っている」について県平均を大きく上回った。 (全国体力・運動能力等調査) 肯定的意見 朝食をほぼ毎日食べている。100% (学力テスト質問紙)	・交通指導員の皆様や交通安全母の会の皆様の協力を得て交通安全教室や1年生の校区安全指導など様々な学校行事を行う事ができた。 ・公民館フェスティバルを開催することができた。子供たちの学びも多かった。 肯定的意見 (保護者) 地域や保護者とのつながりを大切にし、子供の教育に生かしている。 93% (保護者) 進んであいさつをする意識を高め輪が広がっている。 87% (児童) 気持ちの良いあいさつや話し方をしている 87%
改善方法【A】	教師が子供1人ひとりに迫り、子供の成長を促す言葉がけなど子供の見取りを深めていくことができるように取り組んでいきたい。	・読書活動がさらに意欲的に行うことができるように環境づくりに取り組みたい。 ・様々な場面で子供主体の活動を大切にしていきたい。 ・子供の世界の中に縦と横のつながりを深めたい。	・体育授業の単元計画を充実させる。 ・今後も継続的に体力を高める授業づくりに努める。 ・健康面についても指導を深めていきたい。	今後も高松地区の皆様方の協力を得ながら「地域とともにある学校」づくりに取り組んでいきたい。

3 その他の課題

--